

LUX MUNDI

東北学院同窓会報 [ルクス・ムンディ〜世の光〜]

Vol.16 2014.1



特集

藻類が変えていく エネルギーの未来



17万人が繋ぐ、TGコミュニケーション

通信

Life

Light

Love

平成25年10月26日(土)、東北学院同窓会設立110周年記念 第14回同窓祭 ホームカミングデーを開催しました。静謐な雰囲気の中で記念礼拝を行い、心に深く染み入る講演を聴いた後は、「懐かしい出会いの夕べ」の会場へ移動。在学中にお世話になった先生方のご出席もあり、恩師、そして懐かしい同窓生との久しぶりの再会に心躍らせ、会話が大いに弾みました。そして最後は参加者全員で肩を組み、一つの輪になって校歌を斉唱。同窓生の絆を再認識し、母校の発展を願う一日となりました。



表題 ～Lux Mundi(世の光)～

「Lux Mundi(ルクス・ムンディ)」は、ラテン語で「世の光」を意味します。「世の光 わがほこり」と校歌にも出てきますので、東北学院で学んだ方々には馴染み深いものがあると思います。「ルクス・ムンディ(世の光)」は、いうまでもなく東北学院の真の創設者イエス・キリストのことです。そのキリストの光に導かれて、それぞれの人生を歩んでいただきたいとの願いが込められています。

CONTENTS

- 01 ホームカミングデー(第14回同窓祭)報告
- 02 新学長に聞く 東北学院大学学長 松本宣郎
- 04 新校長に聞く 東北学院中学校・高等学校校長 大橋邦一
- 06 特集 TGインタビュー
藻類が変えていくエネルギーの未来 筑波大学生命環境系教授・理学博士 渡邊 信
- 10 懐かしい風 新しい出会い～同窓生のお店を訪ねて～
- 11 躍動する同窓生～世代を超えたTGの輪～
- 12 健康と医療「新薬とジェネリック医薬品」
- 13 3Lセミナー「被災地における商業集積の形成とまちづくりの意義」
- 14 クローズアップ「来るだけで身も心も楽になる」そんな治療院をめざしています。
- 15 TG Gallery
- 16 Faces この人この顔
- 17 同窓会からのお知らせ
- 18 TGUグッズの紹介
- 20 東北学院同窓会 平成24年度収支決算書・平成25年度収支予算
- 21 北から南から Around Japan

巻末 INFORMATION

表紙

松島流灯会 海の盆2012

東日本大震災で中止になった「松島灯籠流し花火大会」に代わり、松島のなつかしくて新しいお祭りとして「松島流灯会(りゅうとうえ) 海の盆」が、平成23年から始まりました。表紙の写真は、24年8月15日に実施された「松島流灯会 海の盆2012」。700年間続く「大施餓鬼会」、そして「灯籠流し」の伝統を大切に、霊場松島の夏を楽しむお祭りになることを目指しています。



東北学院大学は 今、まさに 「改革」に 挑んでいます

東北学院大学 学長 松本 宣郎

まつもと

のりお

教育の質的転換、
質的充実を図る

—平成25年4月に新学長に就任されましたが、現在の心境をお聞かせください。

東北学院大学は、東北地方で有数の大きな私立大学であり、キリスト教主義大学として実績もあり、伝統もあります。一方でその長い伝統の中で、ある種、肅々と従来通りの教

育と研究をしていけば良いのだという雰囲気があるとも感じていました。そんな東北学院大学の学長にというお話があった時に、これから先を見据えて本学が生き残るための改革が必要であると言われましたし、私自身もそう思いました。問題はそこで何ができるのか。それを常に考えながら今日まで来ているという所です。

—東北学院大学の伝統や歴史を学ぶ「TG ベーシック」をカリキュラムに取り入れたのは、

その一環ですか。

そうですね。これは私がゼロから始めたことではなく、25年度が2年目になります。東北学院の伝統を教え、学生のコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を伸ばすような内容も盛り込みました。このような取り組みも含めて、まずは教育の質的転換、質的充実を図ることが、「東北学院大学の改革」につながるわけです。

—自己表現ができる、コミュニケーションができる人材は、企業が望む人材でもあると思いますが。

先日、200数社の企業人が集まる会合があったのですが、「うちは社員9000人のうち、400人が東北学院大出身です」とか、「毎年2名、採用しています」とおっしゃっているのを聞いて、本学にはその期待に応える良い人材を、企業に、そして社会に送り出す使命があると再認識いたしました。ですから、今後も課外活動や授業の中で、人と人とのつながりを深める、あるいはグループで行う授業を増やすなどして、コミュニケーション能力を培う取り組みを進めていきたいと思っています。私も礼拝で説教をする時、このようなことを念頭に置きながら学生たちに語りかけていきますし、先生方にも、学んでいただく研修の機会を増やし、常にレベルアップを図っていただきます。こうした環境の中で、自信を持って学生を育てていく大学にしたいと思います。

新機軸となる 土樋キャンパス新校舎

—今後の抱負についてお聞かせください。

「東北学院大学中期達成目標2013～2018」として、7つの目標を掲げました。建学の精神を守り続ける、教育の質的転換の推進、グローバル化、地域への貢献など、全てやらなければならぬことではありますが、その中から一つ、ご紹介しますと、将来的にキャンパスを学生にとって心地良いものにしようという計画があります。

土樋キャンパス新校舎(仮称)の建設が核となるのですが、隣接する東北大学の敷地を一部取得しましたので、そこに一階は市民も利用できる開放型の空間、2階は映像や音楽などメディアに関する様々なツールを置いてゼミができる空間にし、3階からは教室、演習室、

研究室を完備した新機軸の建物をつくりたいと考えています。

この他、教育の質的転換のために授業内容を見直し、例えば知識を与えるだけでなく、自分で調べ、それをみんなの前で発表するといった「アクティブ・ラーニング」を推進します。さらに、取得できる資格を見直し、小学校の教員になれる課程、また防災士になれる課程を設けて、児童教育、震災復興に尽力できる人材を育てることも視野に入れていきます。

—最後に同窓生にメッセージをお願いします。

母校には、常に発展し続けて欲しいと願っています。母校には、常に発展し続けて欲しいと願っています。母校には、常に発展し続けて欲しいと願っています。母校には、常に発展し続けて欲しいと願っています。母校には、常に発展し続けて欲しいと願っています。



profile 昭和19年4月30日生まれ。岡山県出身。東京大学大学院人文科学研究科西洋史学専門課程修了。平成2年4月東北大学教授となり、13年4月東北大学大学院文学研究科長・文学部長に(平成15年3月31日まで)。20年3月定年により東北大学退職後、21年4月宮城学院学院長、22年11月同理事長、24年4月同中学校高等学校校長、25年4月より現職。大学が成し遂げようとしている教育目標から、日々の出来事を投稿する学長日記などを掲載した『学長の部屋』は必見。http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/about/president/

「一生物学問、一生求道」、 共に担うことが 喜びです。

東北学院中学校・高等学校 校長

おおはし くにかず

大橋 邦一

人が敬遠すること、
社会の困難に敏感であれ

—平成25年4月より、東北学院中学校・高等学校の校長に就任されて数カ月が経過しましたが、現在の心境を率直にお話しいただけますか。

取り組みべき課題は山積しており、その一つひとつに向き合うことで忙しく、そして楽しい日々を過ごしています。「忙しいけれど楽しい」というのは、矛盾しているようですが、

今、先生方と面談をしたり、卒業していく高校3年生と集団で面談をしており、学校の様子や皆さんが抱えている課題を直接聞くことで、「共に担っている、歩んでいる」と実感できることがうれしく、楽しいです。

また面接を通して、生徒たちの内に秘められた能力に気づき、それを引き出す責任が私を含め、教師にあることを再認識しました。

そのためにも先生方との面談を続け、会話を重ねながら信頼を深めていきたいと思っています。また言葉だけでなく、実際の行動で、私の考えていることを伝えたいとも思っています。

—生徒たちには、この学校でどのような資質を身に付けて欲しいとお考えですか。

本校で3年あるいは6年という年月をかけて培った知識や技術を活かし、自分の夢を実現できる人になるということが一つです。同時に生徒に伝えたいのは、その夢が人に必要とされる、喜ばれるものであれば、なお自らを社会に役立てることができるということ。わかりやすく言いますと、人が難しいと思うこと、社会が抱えている困難な問題に敏感な人間になるということです。東北学院のスクールモットーである「LIFE・LIGHT・LOVE」の3し精神で表現するならば、まさに「LIFE・LIGHT」は、生徒たちが3年間あるいは6年

間をかけて、神より与えられた自分の命を光り輝かせる期間です。そして「LOVE」は、卒業してから実らせるものと言えましょう。聖書の代表的な教えである「あなたの隣人を愛せよ」という「LOVE」を実践できる人になって欲しいと願っています。

**伝えたいことは
言葉と態度で示す**

—今後の抱負をお聞かせください。

私自身も含めて、教員は生徒たちに伝えるべきことを言葉だけでなく、行動で示すことが必要です。これは私が作った言葉ですが、「一生物学問、一生求道」。教員になったからといって、それで終わりではなく、教員自身が学ぶ姿勢を見せ、気概を見せれば生徒には必ず伝わると信じています。



実は私には二人、子どもがおりまして、彼らの進路や受験勉強に関して、一切、口出ししませんでした。と言うよりも、必死に我慢したのです(笑)。自分の考えや思いを姿勢で示すことは、とても忍耐のいることですね。しかし、相手の心にしっかり届けたいと思うなら、自分の生き方を見てもらうことが必要なのだと思います。

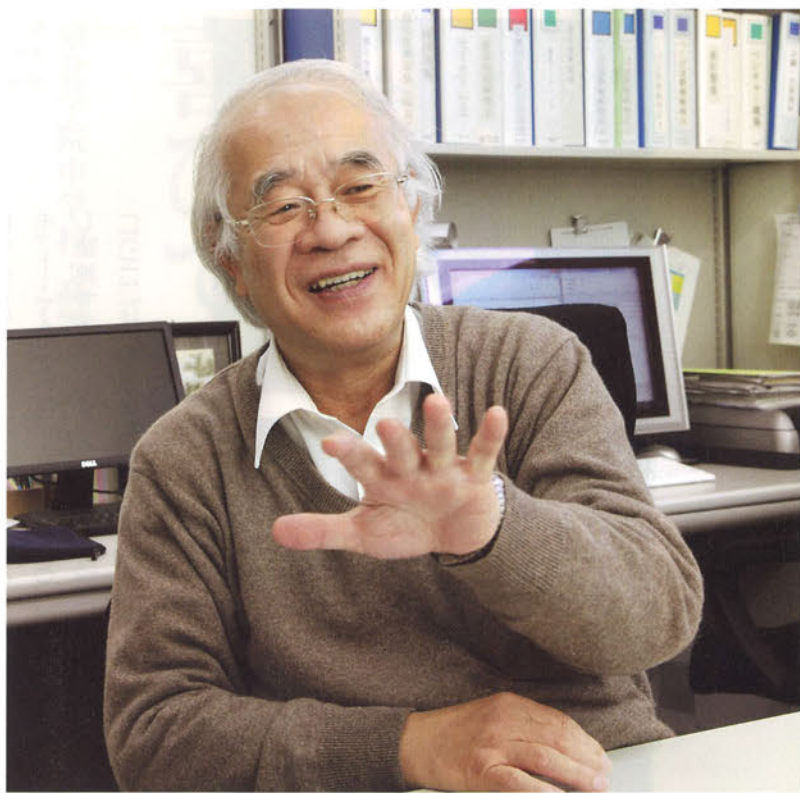
—最後に、同窓会に期待することをお話しいただけますか。

私が東北学院にきて最も驚き、そして最も嬉しいのは、同窓会の活動が活発なことだと思います。愛校心を持った先輩たちに見守られ、育てられるのは生徒たちにとって大変幸せなことですし、建学の精神を守るといっても、同窓会の力は非常に重要だと思います。そんな頼もしい存在である同窓生の方々には、新しい場所に移転した母校を見ていただきたいですね。東二番丁時代とは、ずいぶん変わりました。もちろん、変わらずに守り続けていくこともあります。ぜひ、ご自身の目で確かめに来ていただければ大変うれしく思います。



profile

昭和32年12月3日生まれ。昭和56年同志社大学神学部卒業後、ウィリアムス神学館を経て、同志社大学大学院神学研究科博士課程前期課程を修了(神学修士)。その後、The Church Divinity School of the Pacific 修了。「人生初となる仙台での生活を支えてくれる妻に、感謝する毎日です」と語る。



筑波大学生命環境系教授・理学博士
渡邊 信 (わたなべ・まこと)

昭和41年東北学院榴ヶ岡高等学校卒

昭和23年3月5日生まれ。宮城県出身。昭和46年東北大学理学部生物学科卒業、昭和52年北海道大学大学院理学研究科植物学専攻修了。筑波大学大学院の教授を務めながら、日本学術振興会学術システム研究センター総合・学際新領域主任研究員などを併任。藻類オイルの研究にたずさわり、平成22年には炭化水素生産効率の高い「オーランチオキトリウム」に関する研究を発表している。

東日本大震災の発生以来、エネルギー対策の見直しに拍車がかかる今、「石油を生み出す藻」が、世界的な注目を集めている。その藻の名前は「オーランチオキトリウム」。これを発見したのが、筑波大学大学院教授の渡邊信先生だ。

渡邊先生は、宮城県丸森町の出身で、東北学院榴ヶ岡高校で学んだ。同級生には、東北学院大学や東北大学の教授として活躍する友人も少なくないという。

今回は、研究の本拠地である筑波大学藻類・エネルギーシステム研究拠点に伺い、石油を生み出す藻について、また現在、仙台市と連携して、生活排水を吸収して石油成分を生産する藻類バイオマスの研究・開発を行う「東北復興次世代エネルギー研究開発プロジェクト」、さらに仙台での思い出まで、興味深いお話を伺った。



藻類が 変えていく エネルギーの未来

藻類がつくる 次世代エネルギー

― 石油を生み出す藻の存在が注目を集めています。以前から研究は進められていたのですが、脚光を浴びたのは2007年のことです。

藻がオイルをつくることは、だいぶ前から知られており、研究もされていたのですが、脚光を浴びたのは2007年のことです。

その背景には、2004年頃に起こった石油価格の高騰があります。ブラジル、ロシア、インド、中国などの新興国の経済が急速に発展して、石油をどんどん使うようになったことが原因で、このままでは石油が枯渇してしまうという危機感から、石油に代わる資源が必要だという意識が、全世界的に強まったわけです。

液体燃料をつくることのできるのは、バイオマスしかありません。そこで、トウモロコシや大豆など、陸上植物からオイルをつくっていたのはご存じの通りです。ところが、その結果、トウモロコシや大豆などの値段が上昇しました。これでは食料生産と競合しますし、栽培するにも広大な土地が必要ですから、森林伐採につながってしまいます。そうなれば二酸化炭素の吸収源が減少するというところで、陸上植物からオイルを取ることに対して、批判の声が上がることになりました。そこで藻類からバイオマスエネルギーをつくる技術にスポットが当たったわけです。食料生

産と競合しない、培養するのは必ずしも農地でなくても良い。海の水でも増やすことができる。それが藻類の特徴です。例えばアメリカやサウジアラビアのような水が少なくないところでも、海水はあります。ですから海水でも増え、かつオイルをつくる藻類を育てればいいわけですが、陸上植物ではそうはいきません。真水が必要なのです。さらに藻類は、オイルをつくる生産効率が陸上植物の数十倍から数百倍にもなります。

― 渡邊先生の研究チームが発見したオーランチオキトリウム、そしてポトリオコッカスという藻がつくるオイルが、「次世代エネルギー」と言われるのは、どうしてなのでしょう。

オイルをつくり出す藻類のほとんどは、オイルの種類が植物油と同じなんです。専門的にはトリグリセリドというオイルで、当然、石油とは違います。ですから、そのオイルを運輸燃料に使うためには、変換が必要になります。ところが、ポトリオコッカスとオーランチオキトリウムがつくるオイルは、石油の主成分である炭化水素オイルをつくり出します。それもB重油相当のオイルですから、船舶やジェット燃料、ガソリンとして使えるようにするには、今の石油精製会社の技術があれば充分なものです。石油の主成分であるオイルを大量につくり出す藻は、ポトリオコッカスとオーランチオキトリウムだけなのです。

生活排水から 石油成分を生産

― 仙台市と連携して進めている「東北復興次世代エネルギー研究開発プロジェクト」について、教えてください。

このプロジェクトは低コスト・省エネルギーで藻類燃料を生産するために絶対に必要なプロジェクトだという信念で進めているもので、被災した仙台市の南蒲生浄化センターを拠点として、藻類による燃料生産と新しい循環型システムの研究開発に取り組んでいます。下水処理場から次世代エネルギーを創出し、仙台から全国へと展開できる「仙台モデル」の構築を目指すものです。

従来の下水処理の方法では、下水に含まれる固形分を沈殿させた第一次処理水に溶け込んでいる有機物を取り除くため、活性汚泥といわれる処理層を通して、有機物を分解しています。分解して出てきたものが第二次処理水で、それを自然界に放流しているわけです。この第二次処理水には有機物は含まれていませんが、窒素、リン、カリは豊富にあります。これを肥料として藻に与え、光合成をするポトリオコッカスを増やそうというのが一つです。

それから下水処理に伴って、どんどん増える余剰有機物汚泥を処理するために、仙台市では乾燥させて燃やしているのですが、これを今回のプロジェクトでは、もう一度破碎して水に溶かし、有機物がリッチな培養液をつくつ



被災地から 日本全国へ、 世界へと展開。

でオーランチオキトリウムの餌にしようとしています。このシステムがうまく循環すれば、水処理もうまく進み、困っていた余剰な物の処理もできるという仕組みです。

しかし、培養に使う余剰有機物汚泥は一部で、残りはやはり焼却するわけですが、燃やすことで排出される二酸化炭素をボトリオコッカスの光合成に利用します。また、焼却場では必ず冷却水を循環させていますから、仙台市の蒲生処理場で一日に排水される7千トン近い温水を、藻類の培養ルームを温めるのに利用します。まさに藻類による燃料生産と新しい循環型システムのモデルがここにはあるわけです。

化粧品、ワクチン 広がる可能性

—このプロジェクトのような取り組みは、国内では仙台が先駆けとなって行われているのですか。

—そうです。このプロジェクトが成功すれば、この「仙台モデル」が、日本各地、そして外国への展開も可能です。各地域で、下水道処理と組み合わせ、オイルなどの新しい生産物ができますし、これにたずさわる人たちが必要になりますから、雇用を生み出して、地域の活性化にもつながると思います。

—実用化はいつ頃かと言いますと、様々な社会情勢などを考え合わせても、5年後にはカタチにしたいところです。パイロットプラントで

試験を重ね、2年後くらいには「仙台モデル」を完成させて、全国にその技術を公開し、施設を整備して、2020年にはオイルをつくり出すことを目標に進めていきたいと思っています。

—実はもう一つ付け加えますと、オーランチオキトリウムがつくる炭化水素は、化粧品やサプリメント、ワクチンに添加する物質としても使用でき、非常に価値の高いものとして注目されています。こちらは2年以内に産業化できる見通しです。ただし、仙台の下水処理場で培養したオーランチオキトリウムがつくった物質となると、感情的に受け入れられない人もいるでしょうから、別の場所で工業生産を行います。現在、どの地域に、こういった施設をつくれれば良いのかを検討しているところです。いずれにしても東日本大震災の被災地である宮城県、あるいは福島県に工場を建設しようということで、計画が進行中です。

蝶々を追いかけて 駆け回った日々

—中学から大学までを過ごした仙台では、どのような毎日を送っていたのですか。

—仙台は、まさしく青春時代そのもので、たくさん思い出があります。

—私たちが子どもの頃は、テレビがあるわけではないし、ましてやゲームなんてありませんでしたから、基本的には自然と遊ぶことになったんです。女の子は花を摘んで押し花にした

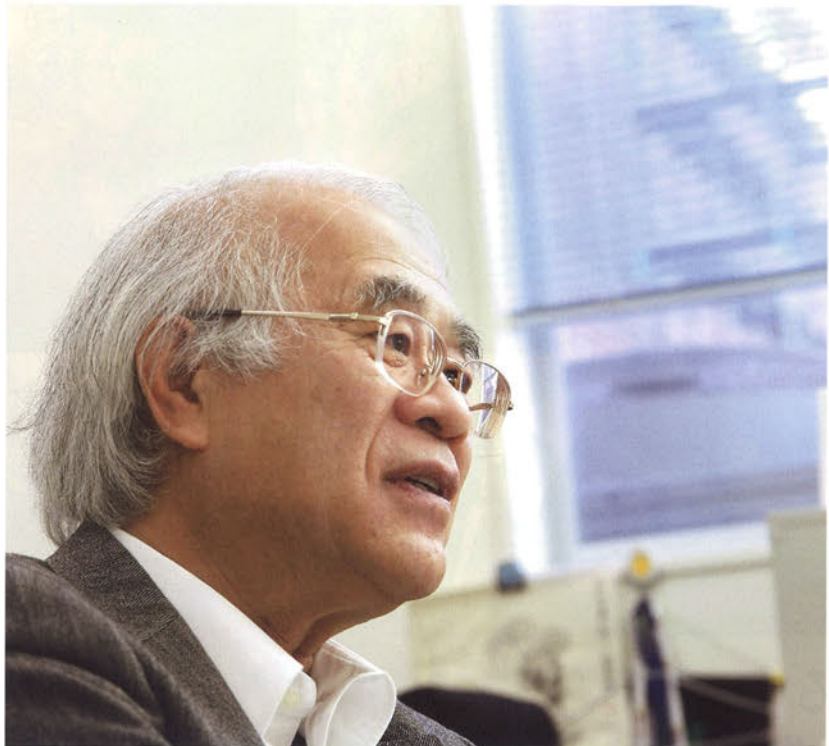
りしていましたが、我々は虫採り、昆虫採集に夢中でした。今も、その延長線上にいます。いつてもいいかもしれませんが(笑)。

—中学、高校時代は生物クラブに入っていました。当時、八木山は蝶々の宝庫だったんですよ。七ツ森にも良く行きました。高校時代、蝶々を探ろうと山に登って、やっと目的地に着いたと思った途端、蝶々がフワッと飛んで来て、今、登ってきた道を下るように飛んでいくわけです。私たちはそれを必死に追いかけるわけですが、せっかくなので登ってきた道を、またすぐに引き返さなければなりません。目当ての蝶々が採れば良いですが、採り損ねてがっかりして戻ってくるのが少なくありませんでした。それでも、みんなで「良くそんなスタミナがあるよな」とゲラゲラと笑い飛ばしていました。

—今でも毎年、高校の同窓会を開いています。当時の思い出を語り合ったり、仕事の話をしたり。懐かしい顔に会うと、心はその時代にすぐに戻れるものですね。

—今後の抱負をお聞かせください。

—今、仙台のプロジェクトだけでなく、福島県でも土着の藻を増やし、それをペレットにして石炭の代わりに使おうというプロジェクトをスタートさせたところです。ですから仙台、そして私の出身地である丸森にほど近い相馬、南相馬という故郷の領域から、日本全国、そして世界に向けて、藻類を利用した新しいエネルギーの生産技術を、一日でも早く完成させて発信したいと思っています。



藻類バイオマスエネルギーシステム研究拠点
Core Laboratory for Algal Biomass and Energy System

つくば国際戦略総合特区 『藻類バイオマスの実用化』 実証フィールド
Tsukuba International Strategy Comprehensive Zone / Algal Bio

農地に藻類生産設備を設置し、オイルの生産の大規模実証に必要な技術的課題を解決
Install algal production system on the farmland to carry out large-scale demonstration experiment for algal oil production

藻類バイオマス研究開発温室
Algal Biomass R&D Greenhouse

ガラス温室
Glass Greenhouse

ビニール温室
Vinyl Greenhouse

学内実験培養プール
Campus Culture Pool

東北復興のためのクリーンエネルギー研究開発 『微細藻類エネルギー利用に関する研究開発』
Next-Generation Energy for Tohoku Recovery: R&D on Utilizing Microalgae

下水有機物を利用し、光合成藻類と従属栄養藻類を併用して下水炭化水素産生を同時に行うシステムを開発
To develop a hybrid production system using phototrophic and heterotrophic algae in combination with waste water treatment processes.

連携 Collaborations

企業との共同研究、実証実験
Joint R&D and demonstration with companies

— 藻類産業育成コンソーシアムを設立した各団体の連携
Collaboration with consortium members for algal biomass industry

— 農地の大学中研究機関との連携 (人材育成、共同研究)、地域連携 (産業振興) 等
Collaboration with university research institutions for personnel training, joint research, and regional collaboration for promotion of algal biomass industry

— アジアオセアニア藻類バイオマスコンソーシアムやつくばSEフォーラム
Participation in Asia-Oceania Algal Biomass Consortium and Tsukuba SE Forum

未来 Future

ボトリオコッカス
Botryococcus braunii

オーランチオキトリウム
Aurantiochytrium

藻類の恵みを未来へ
The benefits from algae to the future

藻類の可能性を持つ藻類バイオマスは人間の未来へつなげる。私たち自身も藻類から取り入れています。
Our research goal is to bring the potential benefits of algae biomass to the future.

私たちの未来は...
● 石油に代わる再生エネルギー
● 持続可能な藻類プラスチックや燃料
● 栄養豊富な藻類から抽出するサプリメント
● アジア・オセアニア産藻類バイオマス産業の発展
● 温室効果ガス削減に貢献する藻類由来の炭素固定

Point a bright future for the future!
● Algae full alternative to petroleum
● Sustainable algae plastics and chemicals
● Nutrient-rich algae food and medicine
● Algal biomass-based bioeconomy products
● Our own algae medicine really works better in the world

● 淡水に生息する光合成藻類
● 30-500µmのコロニーを形成
● 二酸化炭素を固定
● 産生する炭化水素は石油代替資源
● 細胞内及びコロニー内部に炭化水素を蓄積 (乾燥重量の20-75%)
● freshwater photosynthetic green alga
● forms 30-500µm colonies
● fixes carbon dioxide
● produces hydrocarbon in intracellular and colony

● 汽水～海水中に生育する藻類
● 陸上と有機物を利用して、炭化水素スクワレンを主体とした炭化水素を産生 (乾燥重量の20-30%)
● 繁殖が速く、炭化水素オイルの生産効率としてはボトリオコッカスの12倍を超える
● marine and freshwater heterotrophic algae
● green eating organic matter and oxygen and produces hydrocarbon called squallene
● contains hydrocarbon in the cell (20-30% of dry cell weight)
● because of its high growth rate, its hydrocarbon production rate is 12 times higher than that of Botryococcus





株JTB東北 いわき支店長(前仙台支店長) ※取材時は仙台支店に勤務

石橋 信司 (いしばし・しんじ)

平成元年文学部英文学科卒

旅行業だからこそ できることを、ひたむきに

天井が高く、開放的な雰囲気があふれる店内。JTB東北仙台支店は、東北最大級の規模を誇る。

「わざわざ足を運んでくださったお客様に、心地よくお過ごしいただけるよう、スタッフの対応はもちろん、店舗づくりにも気を付けています」と話す石橋さん。東日本大震災以前は、ホームページから旅行の申し込みをする人が多く、窓口業務の在り方が問われる時期もあったという。そんな状況にあっても、自らの使命を「交流文化産業」と位置づけるJTBでは、人と人との出会いの機会と場をプロデュースし、様々な旅行プランを提供してきた。

震災当時、福島県の郡山支店に勤務していた石橋さんは、当時をこう振り返る。

「旅行の取り消し手続きを受け付けながら、那須塩原まで運行していた新幹線を利用されるお客様のために輸送ツアーバスを催行するなど、旅行業だからできることを率先して行いました。震災直後の仙台支店も、市内のJTB店舗では唯一、店を休業せず開け続けました」。

旅の“かかりつけ” 窓口をめざして

震災の影響が落ち着きを見せ始めた2011年6月頃から、旅行需要が増加し、それは現在も続いているという。

「仙台空港では仙台―ホノルル線が復活し、また12月からは仙台―バンコク線が新規就航を果たし、国内線を含め同空港は活気にあふれています。この良い流れをしっかりとらえて、私たちJTBは交流文化産業として、発旅行だけでなく、受観光にも力を入れ、仙台、ひいては東北の経済活性化にも尽力していきたいと思っています」と現在の心境を話す。

この仙台支店には、じわじわとブームになりつつある船旅を提案できるクルーズコンサルタントや、海外ウエディングをプロデュースできるコンサルタントの資格を持つスタッフが多数在籍している。

「まさにかかりつけ医ならぬ、「かかりつけの旅行相談窓口」になることが目標です」と石橋さんは今後の抱負を語る。

最後に、大学時代の思い出について尋ねたところ「一緒に学び、議論できる仲間を得られたことが何よりの財産です」と明るい表情で話してくれた。今でも良い関係が続いていることは、その温かい笑顔が証明している。



世代を超えたTGの輪
躍動する同窓生
仙台発着のハワイ定期便の就航、バンコク線就航など、
活況を呈する旅行業界で活躍する同窓生をご紹介します。

PROGRESS



懐かしい風 新しい出会い

同窓生のお店を訪ねて 16

380年余の歴史ある宿で 明日の英気を養ってください。

鳴子温泉 元祖「うなぎ湯」ゆさや館主 遊佐 勘左衛門
昭和40年東北学院櫛ヶ岡高等学校卒

「鳴子にその昔からあったと言われている湯ですが、そこを利用していた近郷近在の人々からあがった「宿屋があれば泊まり込みの湯治ができるの」という声に応えて、私の祖先が湯の隣の宿を建てたのが、ゆさやの始まりだと言われています」と話すのは、ゆさや17代目の遊佐勘左衛門さん。その後、何軒かの旅館が建てられて、現在の温泉街が形成されていったという。

「昔から漁業関係の方々には、良く利用していただきました。いくらかでも心身を癒やすお手伝いができたのなら、嬉しいですね。これからは、大勢の方々に英気を養っていただくよう努めてまいります」と遊佐さん。平成19年にそれまでの名前である「雅宣」から、代々受け継がれる「勘左衛門」と改名した決意も込めて、意気込みを語ってくださいました。



〒989-6823 宮城県鳴子温泉湯元 TEL.0229-83-2565
チェックイン:午後2時~ チェックアウト:午前10時~
基本料金:13,800円~

東北学院大学 経済学部 教授

千葉 昭彦 (ちば・あきひこ)

東北学院大学大学院経済学研究科博士課程後期課程満期退学、鹿児島女子大学文学部講師、東北学院大学経済学部助教授、ロンドン大学留学を経て平成14年4月より現職。博士(学術)。



被災地における商業集積の形成とまちづくりの意義

マスコミでは被災地に復興商店街ができることを、復興の兆しとして喜びをもって報じている。その中には、気仙沼市の南町紫市場や南三陸町のさんさん商店街、さらには関上さいかい市場などのように30~50と言った店舗が営業する規模の大きいところもあるし、数店舗で成り立っている復興商店街もある。これらの商店街は被災者の暮らしに不可欠な施設であるし、生活再建の前提条件でもある。

けれども、時間は次の段階にすすんでいる。宮城県と岩手県では津波被害が契機となって、福島県ではさらに原発被害が継続する中で、沿岸部を中心に被災地での居住者数の減少が続いている。商業活動は買物客が存在しては

じめて成り立つし、そこでは個々の店舗の存続が可能になるだけの需要量(成立閾値)の存在が求められる。住民減少はこの店舗存続の条件を失わせることになる。

実はこのような状況は発災以前からみられた。仙台市周辺のほか、八戸市周辺といわき市周辺を除く沿岸部は、小売業全体の店舗の著しい減少の影響を辛うじて大型店が代替している大型店代替広域圏か小売店の減少が著しいなかで大型店進出もほとんどみられない(商業活動)停滞広域圏として特徴付けられていた(拙著「東北地方における人口動向と商業集積の変化」東北文化研究所紀要第36号 2004年)。このような動向の背景には人口

減少と購買力の低下があるのは言うまでもない。そして、このような経営環境の中で、少なくない店舗、とりわけ個人商店では、店主の高齢化などもあって経営終了を検討していたとの話が聞かれた。そこに震災・津波が発生し、これを機に経営をやめた店舗もいたが、他方では「あとひと踏ん張り!」「地域の復興のために!」と店舗再建を決意した経営者もいる。その頑張りに応えようと、被災地に集まったボランティアなどの方々が「買って支援を」していた。その結果、それぞれの復興商店街では一定の売り上げがみられた。

問題はこれからである。時間経過とともにボランティアは減り、全国からのネットなどを通じた「買い支え」の支援も減少しつつある。その対応策としてほとんどの復興商店街では「観光客の誘致」を掲げている。けれども、復興商店街で扱う品目の中心は、魚・肉・野菜や日用雑貨、サービスでは理美容やクリーニングなど、いずれも近隣住民の日常生活にとって欠かせないものである。それらは観光客が求める特産品や特別な体験などではない。となると、この需給のミスマッチ状態を修正するためには、復興商店街で観光客向けの商品・サービスのウエイトを高めるか、それとも現在の商店街が成立するだけの需要=周辺居住者数を確保するかのいずれかが必要となる。前者は被災地のテーマパーク化の可能性がみえてくる。後者は雇用・生業生活条件等の再建と言う困難な道が待っている。

人口減少傾向が続いていた被災地では、大震災発生によって10~20年先の未来が突然目の前に現れた。これは少子高齢化がすすむ全国各地の20~30年先のすがたでもある。となると、今、被災地のまちづくりに取り組むことは、そして特に諸施設復旧・建設に限定されずに被災地での人びとの暮らしの持続可能性を模索することは、未来の日本の課題に取り組むことでもある。



薬剤師

高橋 威夫 (たかはし・たけお)

昭和12年1月18日仙台市生まれ。東六番丁小(昭和24年)卒、東北学院中・高(昭和30年)卒、東北大学医学部薬学科(現薬学部)(昭和36年)卒(一期生)。東北大学大学院薬学研究科修士課程、同博士課程修了、薬学博士。元東北大学大学院薬学研究科助教授。専攻は薬剤学・薬物送達学。昭和57年~58年米国アリゾナ大学文学部省在外研究員。前日本薬科大学非常勤講師。編著書「新・薬剤学総論」(南江堂)。

TG 薬剤師会

ドクター TG会

デンタル TG会

健康と医療

Medical Column vol.16

新薬とジェネリック医薬品

医薬品には薬局、薬店、ドラッグストア等で販売されている「一般医薬品(一般薬、OTC薬)」と、医療用医薬品の医師から処方される「くすり」とがあります。OTC薬は今日、リスクの高い順に第一類、第二類、第三類に分けられており、また医療用医薬品は、大きく先発医薬品(新薬)、とジェネリック医薬品(後発薬)に分けられます。

OTC薬については、わが国では優れた医療保険制度(国民皆保険制度)があり、医療保険で給付される医薬品の充実が進むにつれてOTC薬の市場全体に対するシェアは相対的に低下してきているようです。一方、最近では「セルフメディケーション」とか「かかりつけ薬局」といった考え方が注目され、推進されようとしています。「セルフメディケーション」とは、生活者が自らの身体の不調に対し、OTC薬を用いた自主的な取り組みを行う事により、健康の回復増進を図ることをいいます。この場合OTC薬の役割はより大きなものとなります。生活者は自らの健康状況を正しく知り、薬剤師などからのアドバイスに基づき、OTC薬を適正に使用することが必要になってきます。

次に医療用医薬品についてですが、新薬は先発メーカーが開発に費用がかかるため特許期間が設けられており、独占的に製造販売ができます。特許期間を過ぎると他のメーカーでも同じ有効成分の薬を製造でき、厚労省が承認したものがジェネリック医薬品です。ジェネリック医薬品は有効成分、用法、用量、効果などは新薬と同一性を有します。一例として、2004年4月~2011年1月迄に承認された経口製剤の先発医薬品とジェネリック医薬品の

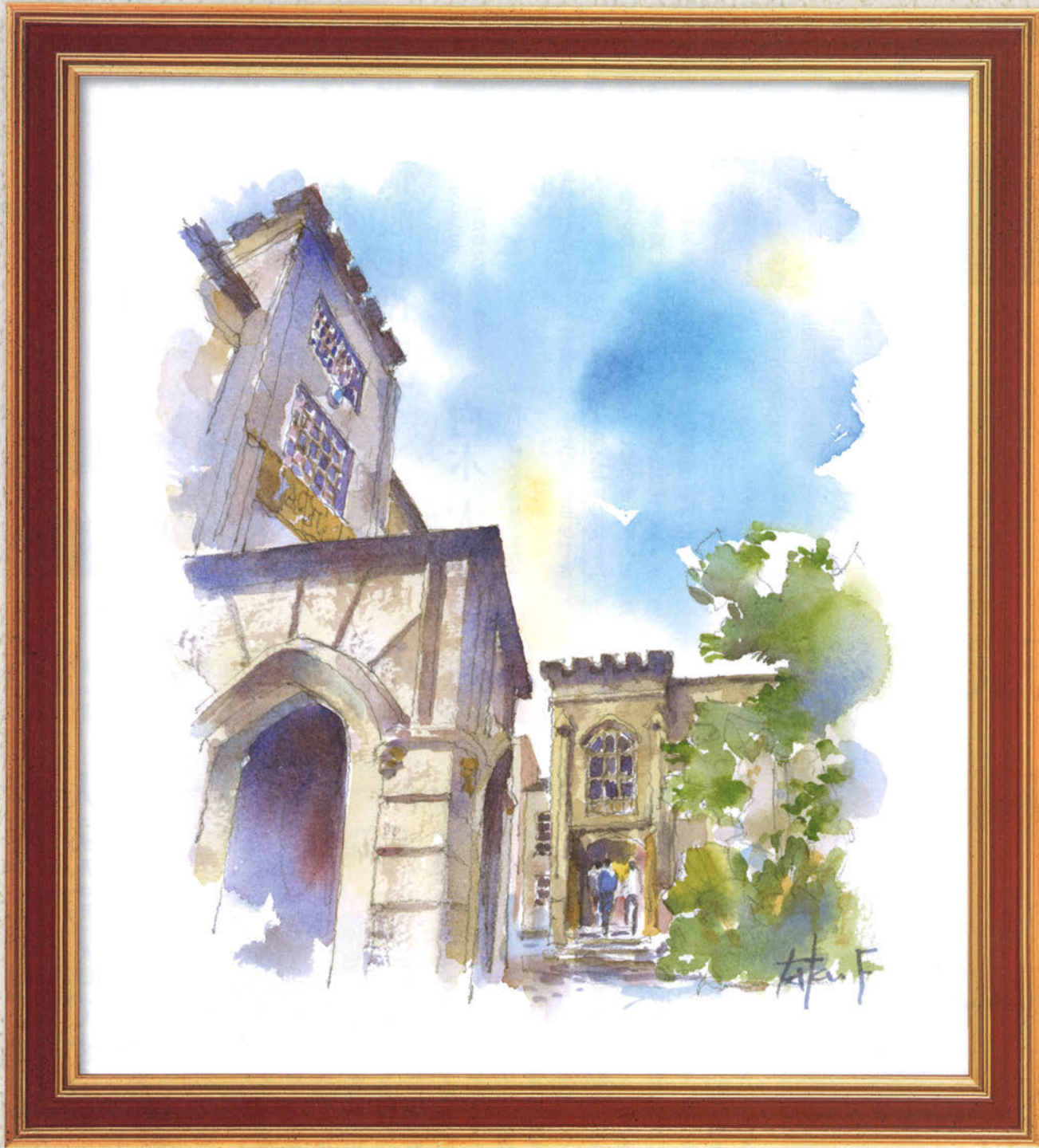
の生物学的同等試験(930件)では、

品質の差はほとんど無いという検討結果が報告されており、またジェネリック医薬品は製剤の小型化や剤形の変更、味の改良など服用しやすいお薬として工夫が図られています。さらに開発期間が短く低コストであるため、価格は通常、新薬の2~7割(平均4割程度)であるとされており、

さて今日、少子化や医療技術の進歩により年々、国民医療費は増加しており、これをどの様に節減するかが重要課題となっております。国民医療費は平成15年度から25年度の41兆8千億円と10兆円以上も増える見込みとされています。厚労省はジェネリック医薬品の使用割合を、平成24年度末までに30%まで伸ばすとしてきましたが、実際は25%程度でした。

ある調査ではジェネリック医薬品の普及率は30代と50代が高く、またどの年代でも男性の方がやや高いこと、診療科別では小児科、産婦人科が低いとの結果が出ています。いずれにしても、日本の製剤技術は欧米諸国と比べて遜色なく、品質水準は高いものと考えられます。ジェネリック医薬品も利用促進の方向で行くべきでありましょう。





TG Gallery
Tohoku Gakuin University Tsuchitai Campus
Taku Furuyama

古山 拓。昭和61年 文学部史学科卒。昭和37年岩手県に生まれる。アニメーター、印刷会社、デザインプロダクション勤務を経て、平成6年、フリーイラストレーターとして独立。東北、東京等各地で風景水彩画の個展を開催。個展発表と広告美術の二本の柱で活動中。日仏現代美術博「ARTEC 造形美術賞」受賞。パリで開催された国交省イベント「ようこそ東北へ」では、東北風景紹介作家としてメイン展示。アトリエ名/ランズエンド。洋画家 故・杉浦朝雄氏に師事。●東北イラストレーターズクラブ会員 ●(社)宮城県芸術協会会員

Close Up クローズアップ

「来るだけで身も心も楽になる」 そんな治療院をめざしています。

東洋医学研究所 名取中央治療院 院長
小野 まり子 (おの・まりこ)

昭和56年3月東北学院大学経済学部経済学科を卒業後、赤門鍼灸専門学校で夜間部に入学。洞口整骨院(名取市)に勤務しながら、はり・きゅう師の国家資格を取得。専門学校を卒業後も、同整骨院に2年半、名取中央病院に約3年間勤務し、62年11月に独立開業、現在に至る。



故郷の宮城県名取市で鍼灸治療院を開業し、27年目を迎える小野さん。地域住民に親しまれ、信頼される鍼灸院を運営するかわら、名取市の生涯学習教室や、仙南地区の小・中学校の保健教師、老人クラブの方々を対象とした講習会の講師として、マッサージやストレッチ、運動療法の指導も続けている。

「市民の皆さんに少しでも役に立ちたいという思いから、声を掛けてくださる方がいれば喜んででかけていきます」と、治療家らしいハツラツとした笑顔を見せる。

小野さんの治療院の特徴は、隣接する名取中央クリニックと連携しながら治療を行っている点にある。患者さんが鍼灸の対象ではない時には、名取中央クリニックに紹介しているという。

「私たち治療家は患者様の心と身体を総合的に診て、そして鑑別診断を行えるように、心がけることが大切だと考えています。そこで東洋医学、西洋医学、各々の特徴を生かし、どんな治療をするのが最も良いのかを判断して、患者さんにとって最良の治療を選択、提供したいと思っています」と、小野さんは自身の治療基盤である「患者第一」の考え方を話す。

地域に密着して治療を続ける中、東日本大震災が発生。小野さんは、名取中央クリニックに併設された100名ほどの高齢者を抱える老人介護保険施設に駆けつけた。入所者の食事の手伝い、鍼灸院に寝たきりのお年寄りを抱える一家を受け入れた。診察を始めたのは3日目のこと。同時に避難所になっている体育館や文化センター、保健センターを一日一箇所ずつ回り、皆さんに声をかけ、必要な人にはマッサージや鍼治療を行った。



「この患者さんは102歳。96歳になる奥様と一緒に、20年前から当院に通っているんですよ」と小野さん。

震災後、様々なボランティア活動に奔走した小野さんの中に、2つの思いが生まれたという。「私は『キャンドルナイトゆりあげ』という、ろうそくを灯して震災で犠牲になられた方を慰霊するイベントに参加しています。24年3月の時は会場の開上中学校のグラウンドに風が吹き抜けており、ろうそくに火を灯すのに苦労しました。でも、ボランティアの学生さんが風よけにそつと手をかざしてくれたおかげで、火を灯すことができました。その時に『若い力』を感じました。そしてキャンドルの炎から『生きる』というメッセージを受け取ったのです」。

地元にも根を下ろし、鍼灸治療はもちろん、様々な地域貢献活動に奔走する小野さん。「どなたでも気軽に話に来てください。そしていつか、ここにただただ『肩の力が抜けて、心身共に楽になった』と言っていただけのような場所になれたら最高ですね」と今後の目標を話してくださった。

同窓会からのお知らせ

平成25年度同窓会代議員会議事報告 H25.5.27

- (1) 東北学院同窓会常任委員及び代議員の選任について(報告)
- (2) 平成24年度東北学院同窓会庶務報告について
- (3) 平成24年度東北学院同窓会収支決算報告について
- (4) 平成24年度監事監査報告
- (5) 平成25年度東北学院同窓会事業計画(案)について
- (6) 平成25年度東北学院同窓会収支予算(案)について
- (7) 東北学院同窓会役員(副会長)の選任について
- (8) 東北学院同窓会会則の一部改正について

平成24年度決算書・平成25年度予算書はP.20に掲載

東北学院同窓会役員一覧(敬称略)

名誉会長	星宮 望	学院長
参与	松本 宣郎	大学長
参与	大橋 邦一	中学・高等学校長
参与	湯本 良次	榴ヶ岡高等学校長
会長	後藤 久幸	昭和35年文経経卒
副会長	工藤 哲男	昭和40年文経経卒
副会長	佐藤 政一	昭和39年文経経卒
副会長	鈴木 勇	昭和47年榴高卒
副会長	中西 利美	昭和46年工土卒
副会長	日野 哲	昭和47年文英卒
副会長	本間 良一	昭和33年文経経卒
副会長	三井 精一	昭和41年文経経卒
副会長	森山 博	昭和47年法法卒
副会長	遊佐 勘左衛門	昭和40年榴高卒
副会長	渡辺 静吉	昭和45年経経卒
監事	竹村 達也	昭和34年高校卒
監事	中鉢 俊也	昭和58年経商卒

TG十五日会のご案内

TG十五日会は、当時の中学・高等学校長だった月浦利雄先生が提唱して昭和40年7月15日にスタートしました。母校の創立記念日が5月15日であることにちなんでTG十五日会と名づけられ、母校の教職員をはじめ同窓生同士の親睦と協力の結びつきを深めるのが目的です。

TG十五日会は昭和62年まで毎月開催されてきましたが、昭和63年以降は8月を休会に年11回開催しています。毎回多くの同窓生にご出席いただいておりますが、近年では講師を迎えて時勢に合ったお話を伺いながら情報交換を行っています。毎月の講師や演題を含めた案内を東北学院同窓会HPに掲載しておりますので、ぜひ、多くの同窓生の皆様のご参加をお待ちしております。

平成26年度「TG十五日会」の開催予定日

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| ① 4月15日(火) | ⑤ 9月12日(金) | ⑨ 1月15日(木) |
| ② 5月15日(木) | ⑥ 10月15日(水) | ⑩ 2月13日(金) |
| ③ 6月13日(金) | ⑦ 11月14日(金) | ⑪ 3月13日(金) |
| ④ 7月15日(火) | ⑧ 12月12日(金) | < 8月は休会 > |

会場：仙台国際ホテル
 時間：12:00～13:00
 会費：1,500円(昼食代)

2つの会社をつなぐ重要な橋渡し役です。

シロキヤ・オフィスベンダーT.G.会 会長
 白木屋 代表取締役社長 営業本部長

白木 大作

平成10年経済学部経済学科卒



弊社は文房具店から始まり、私
 で4代目になります。お客様のご
 要望に、「できないことでも何とか
 する」という意気込みで奮闘して
 いるうちに、現在はオフィス家具
 からOA機器、内装に至るまで、
 より良いオフィス環境を実現する
 トータルコーディネーターの役割
 を担うようになりました。

平成23年にこのT.G.会ができ
 るまでは、法人様営業に特化した
 シロキヤと、SOHOや個人のお
 客様にサービスを提供するオフィ
 スベンダーの社員間には、交流の
 機会がほとんどありませんでした。
 しかし、このT.G.会を通じて、
 徐々交流が深まり、情報交換も
 活発に行われつつあります。今後
 は、ますます東北学院大学生に共
 通するオープンマインドな感性を
 活かして社内の橋渡し役となり、
 仙台・東北経済界に活気をもたら
 す、元氣な企業になることを目指
 してまいります。現在
 18名のT.G.会が、突破口になるこ
 とを大いに期待しています。



Faces 同窓会ネットワークを支える この人 この顔

vol.16

母校、そして同窓生は大切な存在です。

東北学院同窓会 郡山支部長
 八百武



影山 昭午朗

昭和41年文経学部経済学科卒

郡山支部は毎年新卒者を中心
 に二〇〇通の総会案内を作成し
 ています。総会はもちろん、2カ月
 に1回の割合で新年会やお花見、
 暑気払いなど、できるだけお互い
 の顔を見て、お酒を飲んで語り合
 える機会を設けています。

家は親父の代から受け継い
 だ八百屋を軸に、総合病院の給食
 業務を行っています。今は息子が
 引き継ぎ、繁忙期には嫁いだ娘が

手伝いに来てくれます。この娘が東
 北学院大卒で、初めての下宿生活
 が心配になった私は、入学1週間
 足らずの頃、家内にも告げず様子
 を見に行ったことがありました。
 仙台駅で娘が待っていました。こ
 う言ったのです。「お父ちゃん、校
 歌を覚えたよ。一緒に歌おう！」
 と。私は胸が熱くなりました。一
 緒に校歌を歌いながら歩き、「娘と
 父親、同じ大学というの、良いも
 のだな」と思ったものです。

母校や同窓生という存在には、
 特別な思い入れがあります。その
 思いをカタチにすべく、大学を支
 える活動を、これからも続けてい
 きたいと思っております。



ネクタイやバッジなどの 同窓会オリジナル商品と 東北学院関連商品をご紹介します

※表示の価格は1月現在の税込(5%)価格です。
※万が一売り切れの際はご容赦ください。

TGU GOODS INFORMATION

同窓会オリジナル商品 〈 校友課で販売 022-264-6468 〉



左下に銀色で「TG」を入れた大変お洒落なネクタイです。ビジネスにあるいは同窓会活動にご使用になってはいかがでしょうか。

ネクタイ(エンジ)
3,000円

ネクタイ(ブルー)
3,000円



バッジ 1,000円



路面電車が走っていた頃の仙台市内のイラストマップに、東北学院中学校・高等学校と東北学院榴ヶ岡高等学校、東北学院大学の校舎、そして校歌の1番の歌詞がレトロタッチで描かれています。

同窓会オリジナル
ハンカチ 1,155円



TGUミネラル
ウォーター 500ml 100円



書籍
東北学院大学byAERA
朝日新聞出版
税込単価 880円

震災学vol.1(荒蝦夷)
震災学vol.2(荒蝦夷)
震災学vol.3(荒蝦夷)
税込単価 各1,890円



TGUボールペン 84円

東北学院関連商品 〈 大学生協で販売 022-264-6324 〉



同窓会オリジナル
世の光、地の塩2本セット 300ml×2 1,800円

命光愛
純米大吟醸 720ml 2,600円

命光愛
純米吟醸 720ml 1,750円



クッキー
コロパンTGUクッキー
1,200円

ハンカチ
同窓会オリジナル
ハンカチ
1,155円



文房具



TGUシャープペン 84円



TGU付箋紙 210円



TGUクリアホルダー 105円



TGUミニタオル 250円



東北学院同窓会設立110周年記念「東北学院文化講演会2013」

震災復興の取り組みを考える」を開催

地域社会への貢献の一環として、平成15年から実施している東北学院文化講演会。11回目となる「東北学院文化講演会2013」を、11月9日(土)、13時から福島県福島市のホテル福島グリーンパレスで開催し、1,200名余の同窓生が、登壇者の話に耳を傾けた。

次に登壇した現イオンモール会長の村上教授は、本学経済学部卒業の卒業生。天命に従って人事を尽くすと題し、イオングループの多くの店舗、そして職員の方々が、被災地のために献身的に行動した様子を話された。



2013年「第64回 公開 東北学院クリスマス礼拝」厳かに開催



平成25年12月20日(金)土樋キャンパスのラーハウザー記念東北学院礼拝堂において、市民公開のクリスマス礼拝が行われた。本学教養学部今井奈緒子教授が奏でるパイプオルガンの演奏でキャンドル・サービスが始まり、野村信宗主任による聖書朗読と続いた。

オラトリア『メサイア』の演奏は、指揮者に岡崎光治氏、ソプラノ歌手の鈴木美紀子氏、バスの熊木晟二氏、オルガン演奏は今井奈緒子教授により、東北学院大学合唱団が参加。今年は参加者全員で『ハレルヤ』を歌い、祝福をもって終了した。



【情報をお寄せください】全国で幅広い活動を行う支部、TG会の活動報告の場です。皆様の情報をお待ちしております。(情報は校友課まで)

平成24年度 東北学院同窓会収支決算書

自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日

Financial statement table for 2012 (平成24年度) showing income and expenditure details.

平成25年度 東北学院同窓会収支予算

自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日

Financial statement table for 2013 (平成25年度) showing budgeted income and expenditure details.

科目間及び予備費の流用については、三役会の了承を得て執行します。

Summary table for the 2013 budget showing opening, current, and closing balances.

東北学院大学

土樋キャンパス

大学院: 文学研究科・経済学研究科・経営学研究科
法学研究科・法務研究科

学 部: 文学部・経済学部・経営学部
法学部(各3・4年)

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号
TEL. 022-264-6421 FAX. 022-264-3030

多賀城キャンパス

大学院: 工学研究科

学 部: 工学部

〒985-8537 多賀城市中央一丁目13番1号
TEL. 022-368-1116 FAX. 022-368-7070

泉キャンパス

大学院: 人間情報学研究科

学 部: 文学部・経済学部・経営学部
法学部(各1・2年)・教養学部

〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目1番1号
TEL. 022-375-1121 FAX. 022-375-4040

東北学院中学校・高等学校

〒983-8565 仙台市宮城野区小鶴字高野123番1
TEL. 022-786-1231 FAX. 022-786-1460

東北学院榴ヶ岡高等学校

〒981-3105 仙台市泉区天神沢二丁目2番1号
TEL. 022-372-6611 FAX. 022-375-6966

東北学院幼稚園

〒985-0862 多賀城市高崎三丁目7番7号
TEL. 022-368-8600 FAX. 022-309-2655

3L通信編集委員会

委員長	学院長	星宮	望
副委員長	庶務部長	斎藤	英夫
委員	経済学部教授	阿部	重樹
	工学部教授	志子	田有光
	中学校・高等学校事務長	鈴木	義夫
	榴ヶ岡高等学校事務長	鈴木	徹
	広報部広報課長	折原	清
	庶務部庶務課長	八島	康治
	庶務部校友課長	菅井	研
	庶務部校友課長補佐	増田	敏
	庶務部校友課	荻河	亮平

発行日/2014(平成26)年1月15日

発行所/東北学院同窓会(事務局:庶務部校友課)

発行人/後藤 久幸

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号

TEL.022-264-6468 FAX.022-214-0404

URL: http://www.tg-alumni.jp

E-mail: dousou@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

印刷/株式会社ユーメディア

INFORMATION

支部・TG会の
イベントについては、
東北学院同窓会の
ホームページを
ご覧ください。

<http://www.tg-alumni.jp/>

上記ホームページでは
3L通信Lux Mundi(ルクス・ムンディ)の
バックナンバーも
ご覧いただけます。



■ 会 議

三役会議

日時: 2月19日(水)18:00~ 会場: 土樋キャンパス1号館6階「会議室」
3月 5日(水)18:00~ 会場: 同上
4月 9日(水)18:00~ 会場: 同上

常任委員会

日時: 3月 7日(金)11:00~ 会場: 仙台国際ホテル
4月16日(水)11:00~ 会場: 同上

校友課より

「個人情報保護法」への取り組みについて

平成17年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されたのに伴い、東北学院では園児・生徒・学生をはじめ卒業生等の個人情報の取り扱いについて「学校法人東北学院個人情報保護規程」を定め、個人情報の適正な管理と保護に努めています。

校友課では、東北学院同窓会の運営に必要な皆様のご個人情報をお預かりしていますが、今後も個人情報保護法に基づき慎重に取り扱って参りますので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。詳細については、東北学院ホームページに掲載していますのでご覧ください。

なお、東北学院同窓会で使用する個人情報の利用目的は、次の通りです。

- ◇「東北学院時報」並びに「3L通信—Lux Mundi」の送付
- ◇「東北学院時報」購読料徴収に関わる事務
- ◇ホームカミングデー「懐かしい出合いの夕べ」の案内及び参加費徴収に関わる事務
- ◇各支部・TG会などが主催する総会及び行事の案内
- ◇その他、上記に関連する業務

住所等変更届のお願い

同窓生の皆様には、お名前・ご住所・電話番号に変更が生じましたら、お手数でも校友課までご連絡下さいますようお願いいたします。お預かりする皆様方の個人情報は慎重に取り扱い、同窓会に関する利用目的以外には使用いたしません。特に「東北学院時報」と「3L通信—Lux Mundi」は、皆様と母校を結ぶ通信手段として欠かせないものですので、ぜひご協力をお願いいたします。なお、住所変更届は東北学院同窓会公式ホームページからも行うことができます。